地域本部長会議報告(大熊本部長)

2023 年度 第 1 回地域本部長会議

日 時：2023 年 6 月 5 日(月)

・コンプライアンス委員会

13:30～15:00

・地域本部長会議 15:00～17:15

場 所：宮城県：新富亭 1 階コンベンションホール
「四大観」

出席者：(統括本部) 寺井会長、河津副会長、近藤副
会長、田沼副会長、寺沢専務理事、田附常
務理事、月岡試験センター長、(地域本部長)
大熊(北海道)、平野(北陸)、平田(中部)、
田岡(近畿)、大田(中国)、古野(四国)、佐
竹(九州)

議 長：熊谷東北本部長

書 記：滝上東北本部事務局長

【会長挨拶】

- ・本日はこのメンバーで最後の本部長会議。コロナも 5 類の扱いになり、久しぶりの対面での開催を東北本部のご尽力で実現していただいたことに感謝申し上げます。また、地域本部長の皆様には組織改革委員会の委員として 2 年間議論していただいた。この間 CPD 実績管理も始まったが、登録者はまだまだ目標に届かない状況。
- ・資格活用委員会の活動や、行動規範の策定など取り組みについては一定の成果をあげた。特に私が問題視した部会と地域組織の連携をはじめ、その他の要望事項を踏まえ、組織改革の最終報告の中で提言に残した。
- ・地域本部長会議は、各地域における先進的な活動を共有するとともに、地域組織の活動がより活性化していただくための課題解決を図っていくために開催するという意義がある。6 月には新しい役員が決まるなど、新体制になりますが、皆さんよろしくお願ひします。

【議事】

1. 統括本部報告(主要議題)

(1) 行事予定(関係分)について

- ・6 月 15 日(木)に定時総会、会長表彰、懇親会を開催。
- ・7 月 5 日(水)理事会にて地域本部長が選任される。
- ・11 月 17 日(金)から開催される第 49 回全国大会(名古屋)にて、次回第 50 回北海道大会をアピールする。

(2) 第 65 回定時総会における役員の選任について(理事会議事)

- ・定時総会における役員選任案として、理事 30 名(北海道本部：羽二生理事含む)、監事 2 名、及び専務理事 1 名、常務理事 2 名が示された。

(3) 第 65 回定時総会の開催日時・議題等について(理事会議事)

- ・新型コロナウイルス感染拡大阻止対策を踏まえて、以下の日程で開催する。

日時：2023 年 6 月 15 日(木)

定時総会 15:00～16:45

臨時理事会 16:50～17:10

表彰式 17:15～17:45

懇親会 18:00～19:30

(4) CPD 行事参加規則(約款)の制定について-第 2 案-(理事会議事)

- ・技術士 CPD 行事について、申込者・参加者への周知規則(約款)及び参加に係る諸条件を周知し、参加者は表記規則に同意したものとみなして、円滑に CPD 行事を実施することとする。このことについて、3 月 8 日開催の理事会指摘を受けた修正案(第 2 案)が示された。

(5) 技術士 CPD ガイドラインの改訂について(理事会議事)

- ・自己学習の重み係数について多くの意見が寄せられた。本案は 2023 年 1 月 25 日に文科省技術士分科会で省令の一部改訂(資質能力：コ

ンピテンシー)が改正されたことによるもので、4月1日付でガイドラインの改定案 Ver.1.2 が示された。

(6) CPD 行事における講演内容等の WEB 配信収録及び WEB 掲載に関する規則及び手引きの変更について(理事会議事)

- ・一昨年の文科大臣通知および省令改正に基づき、個々の技術士が効果的・効率的に CPD 活動を行うことを支援し、活動地域によって CPD 活動に要する労力・コストに格差を生じさせないように配慮することとしている。このことから、より一層の CPD 機会を提供し、WEB 配信及び収録・WEB 掲載について CPDWEB 登録 PW 所持者には、未加入であっても広く CPD 機会を提供するため、表記規則及び手引きを変更することとした。

(7) 技術士 CPD 行事における講演内容等の e ラーニングに関する規則・手引及び視聴確認問題作成手引きの制定について(理事会議事)

- ・本会は技術士 CPD ガイドライン及び管理運営マニュアルを制定しているが、研修委員会等と協議のうえ、e ラーニングの CPD プログラム(技術者倫理)を製作し配信するシステムを構築した。このことから円滑に e ラーニングによる CPD を実施できるよう、新たに規則・手引及び視聴確認問題作成手引きを制定した。

(8) 技術士 CPD 管理運営マニュアルについて(理事会議事)

- ・技術士 CPD 管理運営マニュアルの改訂に係る意見が多数寄せられたため、マニュアルを改訂(Ver.1.3)することとする。

(9) 技術士 CPD 実績登録管理状況について(理事会議事)

- ・技術士 CPD 実績管理登録状況(2023.4.30 時点)の報告があった。

(10) 令和 4 年度技術士第二次試験結果について(理事会議事)

- ・令和 4 年度技術士第二次試験結果について報告があった。合格率は総監を除く部門で 10.8%、総監部門で 18.3%であった。

(11) 部会と地域組織の連携強化について(理事会議事)

- ・部会と地域組織の連携強化について、地域本部意見の集約・とりまとめを行ったが、本部長会議では今後について、統括本部としての方向性は出されなかった。

(12) その他

1) インボイス制度について

- ・本年 10 月 1 日よりインボイス制度が施行されるが、統括本部では会計担当がインボイス制度に関する講習資料を作成したので、6 月下旬～7 月上旬に 1 時間程度の講習を実施する予定。Teams で行うので、地域本部担当者も参加してほしい。

2) 次回開催予定

- ・日時：2023 年 9 月下旬頃(次期役員決定後)
場所：機械振興会館
議長：北陸本部長
- ・従来、地域本部議長で開催してきたが、そろそろ本部事務局主宰で開催してはどうかとの意見が一部から出て、検討することとした。

2. 地域本部関係[審議事項]

なし

3. 地域本部関係[意見・要望等]

(1) 地域部会の設置について(北海道本部)

- ・寺井会長の提言「部会と地域組織の連携強化に向けて」を受け、部会を持たない地域組織では今後部会から地域部会設置要望が出されることが想定されるため、北海道本部の現状と他地域本部への意見照会を行った。

①北海道本部としては関連規程(例：地域組織の設置運営に関する規則)への対応が困難であるため、今後も部会を設置する意思が無く、「テーマ別研究委員会」と「地方委員会」で活動していくことを説明。

②他地域本部(部会を持つ本部及び持たない本部)に、部会との連携状況を確認した。回答は後日メール等で事務局に頂くこととした。

また、統括本部には、この提言を受けて今後も地域部会設置に向けて推進していくのか確認したが、設置主体は地域本部であるとして、統

括本部としての具体的な方向性は確認できなかった。

(2) 常設委員会への地域本部からの委員推薦～総務委員～について(北海道本部)

- ・ 関連規則の改訂により地域本部から常設委員を1名推薦できることとなったが、WEB参加(年2回程度の対面を認める)を原則としている。これに対し総務委員会ではコロナ前より対面参加を実施しているが、総務委員会も横並びの対応となるのか確認した。
- ・ 回答では、全委員会一律の考え方(WEBを基本)とすることとされたが、総務委員会は議題も多く、総務委員会の位置づけとして各委員会・部会等から提出された案件を審議し、理事会に挙げるのが求められており、他の委員会とは意味合いが多少異なる。そのため活発な意見交換を行う場として対面開催を基本そしてはどうかとの意見を出した。
- ・ 統括本部は予算の関係もあってあくまで全常設委員会一律としたが、委員長判断で開催方法を指定(対面要請等)することは可能との回答であった。

(3) 「常設委員会・実行委員会委員」の推薦について(中部本部)

- ・ 中部本部からも北海道本部と同様の意見が出されたが、以下の確認事項が示された。
- WEB参加には所用による代替参加が可能か。また、実行委員が上位常設委員会委員を兼務することは可能か。
- 実行委員にも年1回程度の旅費支給を検討願いたい。
- 実行委員会への参加もWEB会議システムを活用してほしい。

このことについて、実行委員会の位置づけが常設委員会とは異なるため、旅費の支給は難しいとの回答。会議システムについては委員長と協議してもらいたいとの回答であった。

(4) 実行委員の旅費について(九州本部)

- ・ 「役員等国内旅費交通費支給規則」では常設委員に対して適用されているが、実行委員についても適用してほしい。

このことについて、実行委員会の位置づけは先の中部本部への回答と同様で、自主参加が基本であるため、旅費支給の対象とならないとの回答があった。

ただし、実行委員長から対面参加による意見交換を求められた(要請があった)場合は、委員長から統括本部へ上申することで、支給も可能となる場合があるが、旅費を含めて今後検討していくとのこと。

(5) 地域本部 CPD 行事の技術士 PE 巻末及び HP 行事予定表への掲載お願い(中部本部)

- ・ Yahoo 決済を利用するようになってから、日本技術士会 HP に行事掲載されなくなった。掲載すると一括払いか都度払いの選択よりできなく、申し込みが重複する可能性があるため、統括本部としては掲載しないこととしている。

しかし、地域本部主催行事や行事項目・スケジュールだけでも掲載してほしいとの要望が出され、検討することとした。

(6) 特別委員と幹事の兼任について(中国本部)

- ・ 地域本部特別顧問は、諮問された重要事項に意見を述べることができるとされているが、幹事との兼任ができないのかどうかの質問があった。

統括本部に確認したところ、環境が変わっていることと法律・規程上の用語と社会通念上の用語の間に齟齬があるとのことだったが、どのように環境が変化したのか、年によってあるいは担当者によって判断が異なって良いのかとの意見であった。

このことについては、「特別顧問と幹事は兼務できない」と明確にしてほしいとの要望であった。

4. 地域本部関係[報告]

各地域本部長より活動報告(結果と予定)が報告された。(以下、北海道本部の報告掲載)

- ・ 役員会(4/12、5/30)及び合格者祝賀会(4/12)開催報告、年次大会(7/12)及び技術者倫理フォーラム(6/22)開催予定。
- ・ 統括本部行事として、2023年10/31北東3

地域本部技術士交流研修会、2024 年 2/28 地域産学官と技術士との合同セミナー(後日日程変更:2024 年 2/20 開催)、2024 年 10/4 技術士全国大会をそれぞれ開催する予定。

- ・高専制度創設 60 周年功労者感謝状を苫小牧高専推薦で独立行政法人国立高等専門学校機構から表彰状をいただいたことを報告した。

5. その他

(1) コンプライアンス準備委員会

- ・本年度より表記委員会を設けることとした。本日は「準備委員会」として、次回から新体制の下で本委員会を開催する。

委員は会長以下の 4 役(副会長、専務理事、常務理事)と地域本部長、総務委員長、試験センター部長とする。

本日は、1)適用規則の確認、2)公益法人ガバナンスコードとの照合、3)コンプライアンス上、懸念となる事例、4)役職員向けコンプライアンス研修計画(案)、5)コンプライアンス委員会活動スケジュール(案)とした。

このことについて、1)公益通報者保護規則第 12 条に「会員」が対象となっていないのはおかしい、2)ハラスメントはコンプライアンスに含むかとの質問に、倫理審査規則及び関連法規に則るとの回答があったが、法令が輻輳して混乱しないかとの意見が出た。また、費用が生じる案件については要求・発注・研修の 3 権分立が重要で、発注ルールを早急に定める必要があることで一致した。

活動スケジュールでは「意識の向上」「公益通報者保護規則」「情報システム管理」の講習会が 8 月以降毎月開催する予定となっているため、実施主体の分散や実施可能な日程調整が必要との意見が出た。

(2) 組織改革検討委員会

- ・過去 2 か年にわたって検討してきた組織改革(同検討委員会)の成果報告が提出された。

主な検討内容は、1)公益社団法人日本技術士会組織行動規範の策定、2)ガバナンス適正化、3)組織改革であった。

理事会報告(羽二生理事)

2023 年度 第 1 回理事会

日 時：2023 年 5 月 10 日(水) 13:00 ~ 17:30
場 所：機械振興会館 B3 階研修室 1+WEB 会議 (Teams)

議 題(主なもの)

【審議事項】

1. 2022 年度事業報告及び収支決算について

2022 年度の当会事業について、全般概要、一般事業、指定事業(技術士試験・登録関連)、技術士 CPD 実績管理事業、及び収支決算について報告があった。

《統計データ抜粋》

- ・全国大会 in 奈良参加者数：分科会 474 名、記念式典 470 名、交流会 284 名、テクニカルツアー 74 名
- ・技術士 CPD 実績管理：2022 年度の記載申請数 2,061 名、うち、技術士(CPD 認定)数 441 名
- ・会員数の状況：正会員 16,081 名(対前年度比 258 名増)、準会員 3,064 名、賛助会員 151 社
- ・技術士登録者実数：99,204 名、技術士補登録者実数：43,540 名

2. 常勤役員候補者の選定結果について

会員以外から選任される理事の公募選考に関する規則第 6 条に基づき、常勤役員候補者選考委員会において書類審査、面接審査を行い選定した結果、下記の者を常勤役員候補者とする。

常勤役員(専務理事)候補者：眞先 正人 氏 (前任：寺沢 計二 氏)

常勤役員(常務理事)候補者：月岡 靖 氏、田附 武志 氏

3. 第 65 回定時総会における役員の選任について

定款第 24 条第 1 項の規定に基づく正会員からの理事・監事の選出選挙結果について承認した。北海道本部理事は羽二生望氏が当選した。

4. 第 65 回定時総会の開催日時・議題等について

日時：2023 年 6 月 15 日(木) 15:00 ~

16:45まで。

場所：大手町サンケイプラザ(東京都千代田区大手町1-7-2)

議案：第1号議案 役員の選任について

(報告事項)

1. 2022年度事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告
2. 2023年度事業計画及び収支予算

総会終了後、以下の会議、行事が開催される。

16:50～17:10 新役員による臨時理事会

17:15～17:45 名誉会員推挙状授与、フェロー認定証授与及び会長表彰式

17:45～ 懇親会受付

18:00～19:30 懇親会

5. 2023年度新名誉会員について

- ・理事又は監事で1期2年以上～東北本部推薦2名、部会推薦9名
- ・地域本部長または部会長で4年以上～部会推薦1名
- ・諸役職歴評価～部会推薦3名

以上、合計15名が新たに名誉会員に推薦・認定された。

北海道本部では、諸役職歴評価にて佐々木勝介氏が機械部会から推薦され認定された。(部会幹事18年、地域本部幹事6年)。

6. 2023年度フェロー認定について

新規申請3名、更新申請5名が承認された。

7. 2023年度会長表彰者について

- ・1号推薦(入会歴35年以上で貢献)19名
- ・2号推薦(入会歴10年以上で地域本部、部会、委員会活動で著しい貢献)56名
- ・3号推薦(規定を満たし3名以上の推薦)該当なし

北海道本部からは、小山田応一氏(幹事・ES研)、紅葉克也氏(道東技術士委員会)が表彰を受ける。

8. 韓国技術士会との協定書の締結について

50年続いた日韓技術士会の交流は、2021年5月に一旦区切りをつけたが、2022年7月理事会で新たな交流の必要性が認められて以降、検討・取りまとめた両国間の覚書(協定)が承認された。

9. 国際委員会における IMech E ワーキンググループの設置について

IMechE：英国機械技術者協会との合同セミナーを開催しGA/PCの仕組みと運営等に関する情報交換を行う。

10. 国際委員会 IMech E ワーキンググループ員の委嘱について

3名のWGメンバーを委嘱した。

11. 技術士制度検討委員会の設置規則について

特別委員会の第5期継続(2年延長)を承認した。

12. 技術士資格活用委員会の設置規則について

特別委員会の第3期継続(2年延長)を承認した。

13. IPD 懇談会の設置及び運営規則の廃止について

IPD 懇談会が文科省へ移管されたので廃止した。

14. 統括本部事務局組織規程の改訂について

IPD 準備室の設置を新たに規定した。

15. 男女共同参画推進委員会の設置規則について

特別委員会の設置期間(2年)を明記した。

16. 青年技術士交流委員会の運営の特例に関わる規則の改定について

名称変更(交流→支援)の規則表示反映と、任期の補足事項を追記した。

17. 本会の組織に関する規則の制定について

「統括本部」組織の範囲が不明確だったものを解消し、委員会と事務局であることを組織図に明記。加えて、部会は地域本部と並ぶ独立組織に(統括本部部会→部会)、関東甲信8県支部は地域組織とするが所管は総務委員会であることを明記した。

18. 役職員倫理規程(コンプライアンス規程)の制定について

職業資格としての技術士が遵守すべき「技術士倫理綱領」と並び、本会構成員が常に立ち返るべき行動の拠り所として2022年3月17日「組織行動規範」を策定した。この規範に基づき、厳正な倫理に則り、公正かつ適正な事業活動を行うため、自主的な行動基準として、新たに本倫理規程を制定し実践する。

19. コンプライアンス委員会の設置及び運営規則の制定について(省略)

20. 公益通報者保護規程の制定について(省略)

21. 事務取扱規程の制定について(省略)

22. 情報セキュリティ基本方針及び対策基準について(省略)

当会の適正運営のために必要な規程として、上記 18～22 の規程(規則)が新たに制定された。

各規則の内容・詳細は、日本技術士会 HP>会員コーナー>諸規定 を参照のこと。

23. 会員の入会等について

3 月末時点の正会員は 16,081 名で前月比 242 名の減(入会 32+復帰 1+区分変更 23-退会等 298)、準会員は 3,064 名で前月比 38 名減(入会 84-区分変更 23-退会 99)、賛助会員は 151 社(前月比増減なし)となった。

24. CPD 行事参加規則(約款)の制定について

前回理事会で差し戻しとなった案について、弁護士の方令チェック後の第 2 案が承認された。

25. 技術士 CPD ガイドラインの改訂について

ガイドライン改訂版 Ver.1.2 は前回理事会承認され、4/1 付けで上程されているが、ガイドラインの改定手続きについて、「技術士 CPD 実績管理委員会の設置・運営規則」に「技術士 CPD ガイドラインの変更は、総務委員会における審議を経て、理事会の決議により行う。」ことと追記(改訂)された。

26. 技術士 CPD 行事における講演内容等のウェブ配信、収録及びウェブ掲載に関する規則及び手引きの変更について(省略)

27. 技術士 CPD 行事における講演内容等の e ラーニングに関する規則、手引き及び視聴確認問題作成手引きの制定について(省略)

【報告事項】

1. 技術士 CPD 管理運営マニュアルについて

Ver.1.2→1.3 の改訂について、前回理事会で異議(反対意見)が多かったことから、エビデンスとして受講証明等に加えて、参加者一覧、参加票、参加者のみに配布される資料、招待メール等が追加された。(CPD 登録画面にチェックボックスが追加される。)

2. 技術士 CPD 広報タスクフォース状況報告について

12 関係省庁への働きかけについて、国土交通省、農林水産省への説明を実施。農林水産省の農業農村整備事業の公共調達(業務)において 2023 年 4 月

より技術士(CPD 認定)について評価点 1 ポイントアップを導入。他の部門でも、関係省庁、団体等へ技術士(CPD 認定)の資格活用について各部会等より要請を進める。

3. 技術士 CPD 実績登録管理状況について

2021 年 9 月以降の記載申請者累計数 2,580 名、内、技術士(CPD 認定)は 771 名

地域本部別内訳～北海道本部 申請者数 142 名/正会員数 1,082 名(全国 2,124 名/16,081 名)

地域本部正会員数に対する割合：北海道本部(約 13%)は関東 18%>東北 16%>中部 15%について 4 位

4. 与党技術士議員連盟総会報告

第 11 期技術士分科会における技術士制度改革の検討報告(文科省)、IPD 及び技術士 CPD 活動の状況、IEA GA/PC 改訂第 4 版への対応と国際通用性(日本技術士会)、JABEE の現状と課題(日本技術者教育認定機構)が報告された。

5. 内閣府大臣官房公益法人行政担当室による立入検査結果について(省略)

6. 2023 年度役員候補者選出選挙等結果について(省略)

7. 令和 4 年度技術士第二次試験結果について

3 月 10 日に第二次試験結果が発表され、全体で申込者数 29,391 名に対し、合格者 2,632 名(9.0%)であった。申込者数は対前年約 400 名の減となった。

8. 技術士倫理綱領改定に関する報告書について

前回理事会承認された、技術士倫理綱領改定案について、改定経緯、検討の方向性等を取りまとめた報告書を作成中～DRAFT 版が報告された。

9. 外部委員会委員等の推薦について

JABEE 専門職大学院認証評価委員会ほか 5 つの外部委員会にそれぞれ、研修委員会から 5 名、国際委員会から 1 名、合計 6 名の委員が推薦された。

10. 常設委員会等報告について

2022 年度の活動について、7 つの常設委員会(倫理、総務、企画、研修、広報、社会、国際)、及び個別規定による 4 つの委員会(男女共同参画推進、技術士制度検討、技術士資格活用、組織改革)から報告が行われた。

2023年度 第2回理事会

日 時：2023年7月5日(水)14:00～17:00

場 所：機械振興会館 6階 6D-4+WEB会議
(Teams)

議 題(主なもの)

【審議事項】

- 1. 相談役、顧問、参与及び審議員の選任について**
相談役：寺井和弘氏(前会長)、顧問：野澤太三氏(元参議院議員、元法務大臣)、参与：寺沢計二氏(前専務理事)、審議員 18名の選任が承認された。
- 2. 理事の委員会所属について**
会長発議による、今期選出理事の委員会(7つの常設委員会、3つの実行委員会)配置案が承認された。北海道本部選出理事(羽二生望氏)は研修委員会に配置。
- 3. 地域本部長の選任について**
北海道本部長(金秀俊氏・新任)ほか、7地域の本部長(内新任3名)が承認された。
- 4. 関東甲信地域県支部長の選任について**
関東甲信地域8県支部(神奈川、埼玉、長野、山梨、千葉、茨城、栃木、群馬)の支部長の選任が承認された(うち新任2名)。
- 5. 部会長の委嘱について**
19部会の部会長の委嘱が承認された(内新任11名)。
- 6. 常設委員会委員の継続再任について**
総務委員会において、情報工学部会推薦の委員1名に対して、2期4年の任期制限を超えて、1期2年延長することを認める審議の結果が承認された。
- 7. 実行委員会委員の継続再任について**
修習技術者支援委員会1名、青年技術士支援委員会1名、防災支援委員会4名、科学技術振興支援委員会1名、技術士活性化委員会1名、日韓技術士交流実行委員会5名に対して、2期4年の任期制限を超えて、1期2年延長することを認める審議の結果が承認された。
- 8. 常設委員会及び実行委員会委員の委嘱について**
倫理委員会18名、総務委員会26名、企画委員会23名、研修委員会20名、広報委員会21名、社会委員会19名、国際委員会14名、CPD支援委員

会18名、修習技術者支援委員会17名、青年技術士支援委員会22名、技術士活性化委員会17名、防災支援委員会26名、科学技術振興支援委員会16名、日韓技術士交流委員会12名、海外活動支援委員会17名の委嘱が承認された。

9. 実行委員会委員長の選任について

研修委員会所管の3委員会(CPD支援、修習技術者支援、青年技術士支援)、社会委員会所管の3委員会(防災、科学技術支援、技術士活性化)、国際委員会所管の2委員会(日韓技術士交流、海外活動支援)の委員長8名の選任が承認された(内新任6名)。

10. 男女共同参画推進委員会の設置及び委員の委嘱について

当該委員会の継続設置と、委員18名の委嘱が承認された。

11. 技術士制度検討委員会の委員の委嘱について

当該委員会の委員11名の委嘱が承認された。

12. 技術士資格活用委員会の委員の委嘱について

当該委員会の委員13名の委嘱が承認された。

13. 技術士CPD審査ワーキンググループ委員の委嘱について

当該委員会の委員10名の委嘱が承認された。

14. 会員の入会等について

5月末時点の正会員は16,344名(前月比160名増)、準会員は3,016名(前月比3名減)、賛助会員は152社(前月比1社増)となった。

【報告事項】

1. 第65回定時総会(2023.6.15)開催結果報告について

正会員総数16,104名、出席正会員数5,986名(うち議決権代理行使5,899名)で総会は成立した。

第1号議案：役員の選任が可決承認された。

報告事項1：2022年度事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告が行われた。

報告事項2：2023年事業計画及び収支予算について報告が行われた。

2. 令和5年度技術士第二次試験受験申込状況について

令和5年度技術士第二次試験の受験申込状況に

ついて報告された。申込総数：29,509(29,391)名。内、女性申込者：1,907(1,811)名。20 部門 26,261 (25,998) 名、総合技術監理 3,248 (3,393) 名。

北海道会場は 1,581 (1,580) 名。内、20 部門 1,382 (1,367) 名、総合技術監理 199 (217) 名。()内は令和 4 年度。

《令和 5 年度技術士試験日程(参考)》

第一次試験：申込 6/14~6/28、筆記試験 11/26、発表 2024/2/26(予定)。

第二次試験：申込 4/3~4/17、筆記試験；総監必須 7/16、総監選択・総監以外 7/17、筆記発表 10/31(予定)、口頭試験 12 月~2024/1 月、発表 2024/3/8(予定)。

3. 第 3 回 IPD 懇談会(R05/5/26 開催) 報告

《IPD 懇談会の設置・運営について》

文科省科学技術・学術審議会技術士分科会では、技術士制度に関し産業界での活用促進・普及拡大に取り組むと共に、国際的通用性の確保、若手人材の算入促進、技術士の資質・能力の向上に向けて、必要な制度の見直しを実施している。

本分科会の議論において、若手技術者の時代に即した資質能力開発支援を積極的に推進することを目的として、若手技術者が技術士として求められる資質能力を早期に習得し、技術士として活躍できることを社会全体で支援するためのコミュニティの構築及び IPD (Initial Professional Development=初期専門能力開発)システムの社会実装に向けた具体的な検討を行うため、この“懇談会”を開催している(設置期間は令和 5 年 4 月 1 日~、運営庶務は文科省・人材政策課が行う)。

本懇談会は、(1)IPD に関する社会の理解・促進に関すること、(2)IPD の修習に対する仕組みの構築に関すること~の検討を目的とし、学識経験者等による主査 1 名、副主査 1 名、委員 8 名の計 10 名で運営され、実際の具体的な事項等の検討については、必要に応じて個別の WG を設置する場合がある。

《第 3 回の議事概要》

上記、本懇談会の設置・運営に関する基本事項の説明(再確認)。

IPD システムの概念、懇談会の進め方(ロードマッ

プ)、システムプロトタイプ(関係機関構成、IPD 認定・認証の流れ；プログラム構成、ステップ構成例、IPD 実績データの管理)の説明、IPD システムの基本形(コンピテンシーの見直し)。

第 11 期技術士分科会における技術士制度改革の検討概要報告(令和 5 年 1 月版)。

第 1、2 回懇談会議事録確認。

4. 外部委員会委員等の推薦について

JABEE 理事：推薦~眞先正人氏(日本技術士会専務理事)(退任：寺沢計二氏)。

日本工学会倫理技術協議会：推薦~塩原亮一氏(日本技術士会倫理委員会/株式会社日立製作所)(退任：貴志公博氏/三菱重工航空)。

5. 常設委員会等報告について

常設 7 委員会(倫理、総務、企画、研修、広報、社会、国際)、個別規定 3 委員会(男女共同参画、技術士制度検討、技術士資格活用)より、前期(2021/7 月~2023/6 月)の活動報告(実施結果、次期申し送り事項など)が実施された。

6. 2023 年度業務状況報告について

5 月末における、事業活動収入(一般会計：正会員入会金と会費、特別会計：二次試験受験手数料)の現況が報告された。

《一般会計》正会員入会金は予算(目標値)に対し約 48%の達成状況である。

正会員の会費納入は、対予算で約 100%、準会員では対予算で 92%の状況である。

《特別会計》二次試験受験申込者数 29,509 名は、計画見込み 31,200 名に対し、-1,691 名(-5.4%)と少なかった。結果として金額ベース(受験手数料収受)では対予算で約 2,900 万円減である。

一次試験受験手数料収入は、6 月以降の計上となる。

【その他】(今後の主要会議等予定)

- ・ 2023 年度第 3 回理事会：2023 年 9 月 7 日機械振興会館およびオンライン
- ・ 日韓技術士国際会議：2023 年 10 月 17 日(火)~20 日(金)
- ・ 2023 年度第 4 回理事会：2023 年 11 月 9 日機械振興会館およびオンライン
- ・ 第 49 回全国大会(名古屋)：2023 年 11 月 17

日(金)～20日(月)

- ・2023年度第5回理事会：2024年1月11日機械振興会館およびオンライン
- ・2023年度第6回理事会：2024年3月7日機械振興会館およびオンライン

2023年度 臨時理事会

日 時：2023年8月3日(木)10:00～12:00
場 所：機械振興会館6階65室+WEB会議
(Teams)

議 題

【臨時理事会の開催経緯について】

令和4年度技術士第一次試験(令和4年11月27日実施)専門科目では、令和5年2月27日の合格者発表前に、外部からの指摘を受けて“誤正答(正答例の誤り)”となった試験問題が2題あり、正答の訂正(HP掲載済)を行った上で合否判定を実施し、合格者発表を行った。

しかし、このたび、合格者発表後に、専門科目1問について、外部からの指摘により誤正答が判明したため、合否判定を見直した結果13名の追加合格者を出す事態が発生した。本会は、追加合格者の手続き(官報掲載等)を進めるとともに、報道発表(HP掲載)を行うこととしている。なお、文部科学省科学技術・学術政策局長から、会長に対し嚴重注意(原因の徹底的調査・究明、令和4年度一次試験全745問の総点検とその結果並びに再発防止策の強化についての詳細な報告)が発出された。

【審議にあたっての説明事項】

1. 令和4年度技術士第一次試験の試験問題の誤正答に関する対応状況
2. 令和5年度技術士第一次試験委員(審査)総会開催報告
3. 令和4年度技術士第一次試験における正答ミスに関する嚴重注意について
4. 報道発表(ホームページ掲載)について

【審議事項】

1. 令和4年度技術士第一次試験問題総点検の実施と実施内容(案)について

《総点検実施案・抜粋》

1. 出題問題数(745問題の内訳)

(1)基礎科目：①～⑤群各6問=計30問出題
(各問題群から3問ずつを選択し、計15問を解答)

①設計・計画、②情報・論理、③解析、④材料・化学・バイオ、⑤環境・エネルギー・技術

(2)適性科目：15問出題(全問を解答)

(3)専門科目：各技術部門とも35問出題(25問を選択して解答)

2. 点検スケジュール

- ・8月3日(木)：臨時理事会
- ・8月4日(金)：臨時部会長会議
- ・8月4日(金)～8月21日(月)：点検方法及び点検資料送付先等調整期間(部会)
- ・点検開始に合わせて(点検資料の送付先受領後)点検用資料の配付(事務局)
- ・点検期間：点検資料受領後から9月11日(月)まで(部会)
- ・識別値0.25未満の問題について、出典資料等と照合確認(事務局)
- ・9月12日(火)まで 点検結果報告の提出(部会)
- ・9月13日(水)～9月15日(金)：正答と点検結果報告の照合確認(事務局)
- ・9月19日(火)～9月29日(金)：点検結果報告書作成及び疑義のある問題があった場合、試験委員に照会(事務局)
- ・10月上旬：理事会(臨時開催)に報告(事務局)
- ・10月中旬：文部科学省へ報告(事務局)
- ・11月初旬：令和5年度技術士第一次試験受験票発送
- ・11月26日(日)：令和5年度技術士第一次試験実施日

※点検の結果疑義がある問題については試験委員に照会し、誤正答であると判明した場合は、

受験票発送までに得点の見直しを行い、合格基準を満たす者がいれば追加合格の対応を行う。

3. 点検する試験科目の分担等について

- ・令和 4 年度に試験委員(作問委員及び審査委員)に選任された者は除くこととする。
- ・各試験問題の点検は、1 問題 1 名以上とする。

(1)基礎科目：基礎科目の出題範囲である各分野について、次の部会が当該分野を補える者(複数名可)で点検を行う。

- ①設計・計画：建設部会、②情報・論理：情報工学部会、③解析：機械部会、④材料・化学・バイオ：化学部会、⑤環境・エネルギー・技術：環境部会

(2)適性科目：(試行的に実施済み)

(3)専門科目：各技術部門について、該当する部会が当該技術部門の出題範囲を補える者(複数名可)で点検を行う。

4. 点検用資料：次の資料を送付する。

- (1)試験問題、(2)点検結果報告書様式

5. 点検方法

点検方法は各部会に委ねることとし、部会から推薦された理事は、点検方法の調整等の支援を行うものとする。

(1)点検方法の例(参考)

- ①複数名(又は 1 名)が正答を見ずに試験問題を解答し、その後、部会内でディスカッションを行い試験問題の正確性・妥当性を点検する。
- ② 2 名が正答を見ずに試験問題を解答し、その後、解答結果を照合確認し試験問題の正確性・妥当性を点検する。
- ③ 1 名が正答を見ずに試験問題を解答し、その後、試験問題の正確性・妥当性を点検する。

※ 1 試験問題の解答に当たっては、インターネット、書籍の利用は可とする。

※ 2 正答はホームページ掲載済み。

(2)点検結果報告書の作成

点検結果報告書様式を用い、すべての試験

問題について作成する。

2. 部会長への上記要領での協力依頼(実際の総点検作業の分担依頼)について

以上の 2 件が理事会審議に附され、これが承認された。

[以上]